



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら



☎人事課 995-1806

採用の強化

入庁前から始まるサポート

令和7年度から市では、採用試験の合格者に対し、入庁後のミスマッチや内定辞退を防ぐためのサポートを行っています。

職場見学や職場体験を希望する内定者には、市役所の雰囲気や働く環境を実際に感じてもらう機会を設け、入庁後の自分の姿を具体的にイメージできるよう支援を進めています。

交流と情報発信でスムーズな職場適応を支援

希望者には、実際に働く職員との面談を通して、業務内容や職場環境に関する不安や疑問を解消。安心して新しい環境に入っていけるよう丁寧にサポートしています。

また、内定者向けオリエンテーションでは、給与や休暇制度の説明だけでなく、内定者同士や先輩職員との交流の場を設けるなど、職場に早くなじめるよう工夫しています。

さらに、市役所内のイベント情報を希望者にメールでお知らせし、服装の軽装化や「さん」付け呼称の推進、名刺の公費化など、働きやすい職場づくりの取り組みも共有しています。

実務体験で“働く自分”を実感、柔軟な採用も実施

希望者には、インターンシップや会計年度任用職員としての勤務体験の機会を設け、実際の仕事を通して職務への理解を深めてもらうことで、入庁後のギャップを最小限に抑える取り組みも進めています。

また、経験者採用では、本人の希望や状況に応じて、4月1日に限らない柔軟な採用も実施。これらの取り組みを通じて、誰もが安心して働き続けられる職場づくりを目指しています。

受験者の推移

R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
84人	59人	123人	105人	104人



すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



志村 唯一さん
2歳11カ月
佐野二



楠間 結菜さん
2歳8カ月
佐野元町



荻倉 よりかさん
2歳9カ月
石脇



田代 大希さん
2歳10カ月
御宿新田



田代 優希さん
2歳10カ月
御宿新田



11月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・27日(休)



📍鈴木図書館 992-2342 📍文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

四維街一号に暮らす五人

著者：楊 双子
訳：三浦 裕子
出版社：中央公論新社

台中の日式建築シェアハウス・四維街一号で暮らす4人の大学院生と家主の5人。発見された100年前の台湾料理レシピをきっかけに、それぞれの事情が解き明かされていきます。台湾の歴史や民族についても触れられる物語です。



児童書

はじめてであう きょうりゅう

作：バスチャン・コントレール
訳：真鍋 真
出版社：岩波書店

フランス発。ステンシルで描かれたのびやかな恐竜がとってもユニークでたのしい絵本。やさしくシンプルな文章に恐竜のひみつがぎゅっと詰まっていて、遠い恐竜たちの時代と、今の私たちが確かに地続きであることが感じられます。



行事予定

鈴木図書館

おはなしの会

🕒 1日(土) 11時～11時30分

リサイクルブック

保存期間の過ぎた雑誌などを無料で譲ります。

🕒 8日(土)～21日(金)

親子おはなし広場

🕒 11日(火) 10時30分～11時

親子ふれあいデー事業

「ベビー&キッズタイム」

子どもと一緒に気兼ねなく図書館を利用できます。

🕒 12日(水) 9時～12時

私のおすすめの一冊投票

お気に入りの本、心に残った本など、おすすめの本を紹介してください。

🕒 25日(土)～11月16日(日)※投票期間

文化センター図書室

おはなしフェスティバル

大型絵本などの読み聞かせの後、簡単な工作をして遊びます。

🕒 8日(土) 11時～11時45分

親子おはなしの会

🕒 18日(火) 10時30分～10時50分



すそのびと

Susonobito No.76

NHK杯 第58回全日本選抜ボウリング選手権大会 男子の部で準優勝

勝又 七夢さん
和泉・24歳



5月16日(金)から18日(日)にかけて、埼玉・新狭山グラウンドボウルで「NHK杯 第58回全日本選抜ボウリング選手権大会」が行われ、男子の部で勝又七夢さんが見事準優勝を果たしました。NHK杯は、全国のトップアマチュアが腕を競う国内最高峰の大会のひとつです。

「準決勝まではアベレージ230点くらいで安定していました。決勝ではプレッシャーもあり、思うような

投球ができなかったのが少し悔しいですね」と大会を振り返る勝又さん。

ボウリングを始めたのは8歳のとき。子ども会の大会で初めてボールを投げ、その楽しさにすっかり夢中になったといいます。

「最近はシニア層の愛好者が増えていますが、若いプレーヤーは減っているのが現状です。だからこそ、自分が大会で活躍する姿を見て、『自分もやってみたい!』と思う若い人が増えてくれたらうれしいですね」と話してくれました。

次の舞台は、12月7日(日)に浜松毎日ボウルで開催される「SBS杯争奪 第42回静岡県ボウリング選手権大会」。4年前に優勝経験のあるこの大会で、再び頂点を目指します。

